

令和5年度 名張市立つつじが丘小学校・南中学校 小中一貫教育グランドデザイン

子どもに育みたい力

- 確かな学力の向上・体力の向上
- 人間関係力の向上
- いじめの防止と不登校問題の解消
- ふるさとを愛する心の醸成
- 英語力の向上

まなび

確かな学力・自ら学ぶ力の育成 ともに学び合い、伝え合う姿

- 学力、学習意欲の向上に向けての取組
- 指導法の研究実践(授業の進め方、学習規律等)
- 体力向上の取組 (体力テストの実施・分析)
- 体育指導の研究実践
- 小中一貫英語教育の実践
- 小中連続した人権教育の実践と検証
- 自主的な家庭学習の充実・定着の取組
- 乗り入れ及び出前授業、補充学習の計画立案
- 参観授業の交流計画の作成と実施

こころ・からだ

豊かな人間性・健やかな体の育成 心身ともに健やかで、自他を認め合う姿

- 生活規律の実践と検証 (あいさつ、時間、言葉づかい等)
- いじめ防止の取組
- 新たな不登校児童・生徒を出さない取組
- 生活習慣の改善の取組
- 健康教育及び食育の取組



【小中一貫教育の目標】



確かな学力を身につけ、ふるさとを愛し、心豊かに生きる児童・生徒の育成
～小中が連携した共通実践を通して～

【めざす子ども像】

夢を実現する力・社会を拓く力を身につけた児童・生徒

小学校：夢と希望を持って生き生きと(自発的に)活動する児童

中学校：夢の実現に向け自ら考え、主体的・自律的に行動する生徒

【めざす学校像】

安心して登校でき、満足して下校できる学校

【小中一貫教育推進の基本理念】

未来を担う子どもの夢を実現するため、つつじが丘小学校・南中学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、一丸となって子どもの教育に向き合う。

【基本方針】

- 系統的・連続的な学習指導、生徒指導、進路指導を9年間のスパンで組織的に展開することにより小・中学校の円滑な接続をめざす。
- 9年間の一貫した教育課程を編成し、系統的・連続的な学習指導を行うことで、学習習慣の定着を図り、「確かな学力」「自ら学ぶ力」の向上をめざす。
- 小中の児童・生徒間の交流や体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。
- 「ひと・もの・こと」からの学習を通して、ふるさと「なばり」を愛し、文化を引き継いでいく実践力を育てる。

【つつじが丘小・南中学校に共通する課題】

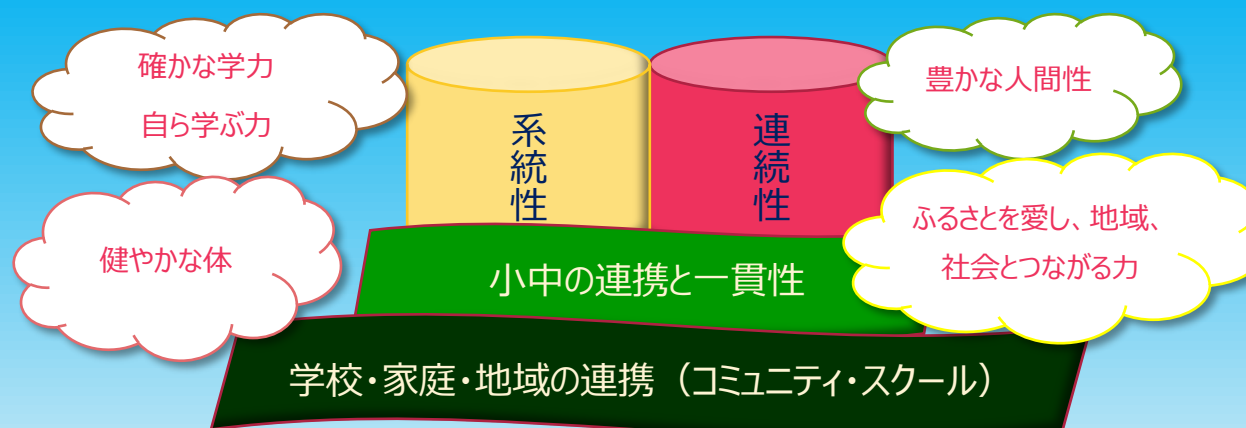
全国学力・学習状況調査結果の分析より

- 教育活動全体を通して、主体性や自尊感情を高められるような取組が必要である。
- あいさつの習慣を家庭及び学校生活に定着させる必要がある。
- 人権意識の育成や、豊かな感覚を培うことにより、“規範意識”・“倫理意識”の醸成を図る必要がある。
- 宿題中心の家庭学習から、家庭での学習の習慣化や自発的な学習の質的、量的な充実を図る必要がある。
- メディアに触れる時間が増加していることや、低年齢化していることから、家庭と連携した生活習慣の改善の粘り強い取組が必要である。
- いじめや新たな不登校児童・生徒を出さない小中が一貫した魅力ある学校づくりの取組が必要である。
- 地域への興味・関心や地域社会との関わりを高めていく必要がある。

ちいき

ふるさとを愛し、地域・社会とつながる力の育成 自分の考えを発信し、地域とつながる姿

- 地域連携の推進(防災訓練、学校運営協議会等)
- 「なばり学」の実践
- つつじっ子会議 (あいさつ運動・感謝伝達式)
- 小中連続したキャリア教育の実践と検証



学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
内容	・繰り返しの学習を重視し、基礎・基本を身につける ・基本的な生活習慣を形成する ・人と関わり合う力を伸ばし、自己有用感を高める				・基礎・基本の活用力、論理的思考力を伸ばす ・基本的な生活習慣を確立する ・自尊感情を育み、社会性を伸ばす			・主体的な学習で問題解決力を伸ばす ・よりよい生き方を探究し、個性を伸ばす ・適切な進路選択をする	
指導形式	学級担任制				一部教科担任制			教科担任制	